【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2003-197083(P2003-197083A)
【公開日】平成15年7月11日(2003.7.11)
【出願番号】特願2001-396116(P2001-396116)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０１Ｈ　69/01
　Ｇ０１Ｒ　31/02
　Ｈ０１Ｈ　83/04
【ＦＩ】
　Ｈ０１Ｈ　69/01
　Ｇ０１Ｒ　31/02
　Ｈ０１Ｈ　83/04

【手続補正書】
【提出日】平成15年10月29日(2003.10.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
こうして試験電流が漏電遮断器用テスタ２０の２本の測定コード２１，２２間に流れて測定が開始されると、試験電流は、電源側電圧線１３ａ、入力端子Ｎ３、漏電遮断器１０の内部回路、出力端子Ｓ３、測定コード２２、漏電遮断器用テスタ２０の内部の定電流回路、測定コード２１、入力端子Ｎ２、電源側電圧線１２ａを通って流れる。この場合、入力端子Ｎ３と出力端子Ｓ３間、又は、入力端子Ｎ２と出力端子Ｓ２間のいずれかで、漏電遮断器１０の内部回路に電流が流れることで、図示しない漏電検出回路Ｐが動作して（例えば、入力端子Ｎ３と出力端子Ｓ３間、及び、入力端子Ｎ２と出力端子Ｓ２間の双方に電流が流れたか否かを監視する。）漏電の検出が可能になる。